

瓦屋根の下のエコな素材



ぱっと見は雨の漏れる気配の無い瓦ですが。

最近瓦の雨漏りの修理で、原因が瓦の下地の防水層の劣化によるものが続きました。屋根に上りよく見ても、瓦は割れも無くずれも無い状態です。でも漏れている周辺の瓦を剥がしてみると、下地は



一枚剥がしてみると、ビックリ！！

木の薄皮の防水。(業界ではトントン葺きと言います) この防水形式は築30年以上の木造住宅に、かなり残っています。トントン葺きは、木の皮のコンディションが良ければ、木の油分で撥水します。でも、年数と共に油分が無くなると撥水しなくなり、皮自体も風化し始めます。それで写真のようになり、雨が漏れ始めるの



ごらんの通り木の薄皮です。油分が無くなるとこの様に劣化。

です。対策は簡単。多めに瓦を剥がして現代の防水紙(ルーフィング紙)にその部分だけ貼りかえれば大丈夫。

トントン葺きは、天然素材の良さを利用した材料だったのです。今の時代に当てはめて見ると、まさに地球に優しいエコな防水素材ですよ。

発行：意外と思う事でも私たちは出来ます。(有) 渡辺賢工務店